

2回目の寒波が到来し“冬来りなば春遠からじ”といったところでしょうか。北から南に長い長野県では季節の感じ方も違うことでしょう。

今回は、母子保健専門研修会Ⅲ、こども家庭センターに係る情報交換会、災害時におけるアレルギー疾患対応等についてです。

… 母子保健専門研修会Ⅲを開催しました（1月17日） …



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

「乳幼児期からの生活習慣病対策」についての研修会を行いました。

参加者（Zoom）：218人（保健師 154人 管理栄養士・栄養士 55人 他 9人）
70所属（市町村 61 保健福祉事務所 9）

	テーマ	講師等	理解度
講義1	幼児期から始める生活習慣病対策	長野県立こども病院内分泌代謝科部長 兼生命科学センター長 長崎 啓祐 氏	4.6
講義2	生活習慣病予防のための乳幼児期の 栄養指導のポイント	清泉女学院短期大学非常勤講師 管理栄養士 西沢 由美 氏	4.3

【長崎先生】

- 肥満度の計算には村田式、伊藤式などがあり、体格指数計算ソフトはダウンロード可能である。
- 成長の評価は点でなく、身体発育曲線などを活用した線の評価とする。
- 積極的に介入すべき幼児：肥満度30%以上と、肥満度15~29%以下の児で前年よりも肥満度が5~10%増加した児、BMIが半年~1年前より増加している児。
- AR（Adiposity rebound：BMIの最低値からの体重増加）が5歳児未満の早期に出現する群は成人の肥満リスクが高いことなどから、3歳~6歳の間に肥満にさせないことが大事になる。

【西沢管理栄養士】

- 肥満傾向児は各年齢で増加しており、HbA1c5.6%以上の小学・中学・高校生が増加している。
- 肥満が続くと食欲を抑制する中枢の視床下部に変調をきたす。気づかずに過剰摂取する脂質について保護者が学習する栄養指導のポイントについて。
- 保護者と身体計測の記録を振り返り、体重増加の要因や食の内容を学習した事例紹介。

講義内容からの抜粋

… こども家庭センターに係る情報交換会を開催しました（1月28日） …

【参加状況】（集合形式）参加者数 74人（保健師 53人 社会福祉士 10人 その他 11人）

参加市町村 37市町村（設置済 21 R7~9年度設置予定 10 未定 6）

	テーマ	講師等	理解度
話題提供	こども家庭センターの体制について	こども・家庭課 児童相談・養育支援室 岡村 直亮 氏	4.1
活動報告	①松本市こども家庭センターについて ②小規模自治体が展開する こども家庭センターの現状と課題	松本市こども福祉課 相談・支援担当係長 仲林 啓 氏 阿智村こども家庭センター長 島岡 佐喜子 氏	4.3
グループワーク	こども家庭センターにおける母子保健機能とこども福祉の一体的支援		4.5

参加者の声（グループワーク及びアンケート回答から抜粋）

〈グループワークから〉

- ・統括支援員が母子保健、児童福祉の両方を経験するのは難しいことと思う。
- ・定期的に合同会議を開催し情報共有がしやすくなった意見が出されている一方、建屋が別、業務が忙しいなどの為、なかなか開催しづらい市町村もある。
- ・合同会議など共有する場ができたことで、多職種からのアドバイスが聞けてありがたい。
- ・妊娠期からの母子保健と児童福祉の同行訪問ができる体制ができたので、つながりやすくなった。

〈アンケートから〉

- ・保健師だけの話合いでは同じ視点になってしまうが、他職種の違う視点を聞くことができ、一体的に支援することの意味が分かった。
- ・サポートプランやアセスメントツールについて、具体的に聞いたことを参考にして合同会議等に活かしていきたい。サポートプランについて他市町村の状況も聞きたいと思う。

話題提供では“西日本こども研修センターあかし”が行うこども家庭センターの設置・運営に向けて助言を行うアドバイザーの派遣（こども家庭センター支援事業）について情報提供がありました。関心のある方は、こども・家庭課 児童相談・養育支援室にお問い合わせください。

情報提供 災害時におけるアレルギー疾患対策について

2月20日はアレルギーの日、
2月17日～23日はアレルギー週間

災害はいつ起こるかわかりません。今一度市町村におけるアレルギー疾患を持つ方への配慮や自助を促すための啓発について検討をお願いします。

○避難所におけるアレルギーを持つ方への対応例について

食物アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> 避難者が確認できるよう、食事の原材料表示の徹底。(炊き出しの際に、原材料を紙に書いて掲示するなど) サインプレート・災害用ビブスなどのツールの活用。(一目で何のアレルギーかを確認できるような工夫) アレルギー対応食品(支援品)の分配。(支援品が届く場所やアレルギー対応食品の設置場所について、避難所設置担当者と確認し必要な人に物資が届くようにする。) 	
気管支ぜん息	<ul style="list-style-type: none"> ぜん息の症状を誘発するホコリ・ペット対策。(ペットから離れた場所の確保、換気など) ネブライザー(治療薬)を使用するための電源の確保。 	
アトピー性皮膚炎	<ul style="list-style-type: none"> 清潔な皮膚を保てるよう、水やシャワーの確保。(アルコールを含まないウェットシートやドライシャンプーも有用) 塗り薬を塗りやすいように、周囲の目に触れない場所(プライバシー)の確保。 	



※令和3年度厚生労働科学研究費補助金 掲示用ポスター (アレルギーポータルからダウンロードできます。)

参考:アレルギー疾患がある方に配慮した自治体のための災害の備えと避難所運営の手引き

○アレルギーポータルの活用

アレルギーの症状や治療方法、災害時の対応方法など、正しいアレルギーの情報が集約されていますので、ご活用ください。

URL:<https://allergyportal.jp/>

○災害時の備えに関する啓発

発災時は、自助がとても大切です。各家庭でアレルギーの対応食品を備蓄するなど、平時からの備えについて啓発を行うことも重要です。

こども家庭庁から情報提供 「産後ケア事業」紹介チラシ及び動画の公開について

産後ケアを必要とする方々に「産後ケア事業」をより知ってもらえるよう、「産後ケア事業」紹介チラシ(自治体向け)及び動画(一般向け)が公開されました。妊婦面談や新生児訪問などの際にご活用ください。

○「産後ケア事業」紹介チラシ

https://sukoyaka21.cfa.go.jp/sango-care/guide_02/

○「産後ケア事業」紹介動画

Youtube : https://youtu.be/jPfl6_Gxlgl (ロング)
<https://youtube.com/shorts/HGXouct9wQA> (ショート)
X : <https://x.com/KodomoKatei>

○健やか親子21ウェブサイト「産後ケア事業」ページの開設

「自治体/自治体から委託を受けている事業者の方」のページでは、産後ケア事業ガイドラインを含めた関係通知等もまとめられています。

Instagram : <https://www.instagram.com/kodomo.katei/>



**市町村からの
お問い合わせ**

複数の市町村が委託する産後ケア事業施設の修繕費用(妊娠・出産支援緊急整備事業)の負担について

妊娠・出産包括支援緊急整備事業について、令和6年度母子保健医療対策総合支援事業実施要綱では、他市町村と共同実施する場合、事業費を適切に案分するなど、市町村間での調整の上実施するとあります。

事業を実施される場合は、あらかじめ緊急の修繕を見込んで、事業化・予算化しておく必要があります。委託する事業所、同一施設に契約する市町村等と協議し案分方法等を検討してください。

お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。



担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上田・長野・北信	森 谷	長野県庁 保健・疾病対策課 026-235-7141(直通電話)
諏訪・伊那・飯田・木曾・松本・大北	嶋 田	